

2020年5月28日

保護者各位

聖ヨゼフ学園中学・高等学校  
校長 清水 勝幸

新型コロナウイルス感染 学校再開における感染予防対策について  
～ 学校の新しい生活様式を踏まえて ～

日頃より、学園の教育活動にご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。

緊急事態宣言発出を受け、長期間の休校期間を過ごしてまいりました。5月の連休明けより始まりましたオンラインHR・授業の中で、生徒のみなさんの笑顔が見られることは、厳しい自粛生活の中でも気持ちが温まるひと時でした。5月25日に宣言解除となり、いよいよ皆さんを学校に迎えることができる状況となりました。学校再開後の生活につきましては、文部科学省からのガイドラインをもとに、学校医、学校薬剤師の先生方にご助言をいただき、下記のように感染予防対策を講じることといたしました。ご家庭におかれましても、ご理解ご協力いただけますようお願い申し上げます。

記

1. 感染予防対策

感染予防対策の基本ポイント「感染源を絶つ」「感染経路を絶つ」「抵抗力を高める」に沿って、対策を講じる。

(1) **感染源を絶つ**：感染が疑われるような症状のある生徒は登校を控える。

① 家庭、学校での毎朝の検温及び症状のチェック

・朝の検温で平熱よりも高い場合、その他症状が見られる場合は、登校を控える。

⇒ 欠席扱いにはなりません。出席停止となります。

・昇降口でのチェック（家庭での検温結果の記録）

⇒ 発熱、体調不良等のある生徒は、この時点で保健室、別室へ移動。集団には入らない。

検温を忘れた場合は、保健室で検温等を行う。

・健康チェック票は家で記入し、朝礼時に提出。

※ 6月の健康チェック票は、登校時に配布します。最初の登校時には記録用紙が無くても、必ず検温をしてから登校すること。

※ 教職員の健康チェック、出勤の基準は生徒と同様。

(2) **感染経路を絶つ**：接触・飛沫感染の経路を絶つ。

「密閉」「密集」「密接」場面を避ける。

① 密集を避けるため、当面の間は分散登校、短縮授業とする。

② マスクの着用、咳エチケットの励行。

③ 自分のため、相手のために、人との距離をとるよう指導する。

④ 教室での机配置、教員との距離について（ソーシャルディスタンスの確保）

- ・1～2mの間で、できる限り距離をとり配置。（クラス人数により異なる）… **A**
  - ・授業中、指導教員とも同程度の距離が取れるようにする。（教員スペースのマーキング）
  - ・特別教室、更衣室を含めたすべての教室で、同様の配置を行う。
  - ・授業において、当面の間グループ活動等は行わず、活動は段階を追って拡げていく。  
また、必要時は生徒、教員がフェイスシールド着用する。… **B**
  - ・昇降口、トイレ、自販機前、等、生徒の使用が集中するような場所では、十分な距離が取れるよう、立ち位置のマーキングを行う。… **C.D**
- ※ 試食室を第2教員室として、教員も分散する。

**A** 教室



**B** フェイスシールド



**C** 自販機前



**D** トイレ



⑤ 石鹸での手洗いとアルコールによる手指消毒の励行

⇒ 登校後、トイレ後、昼食前、体育前後、咳やくしゃみをしたとき、共有のものに触ったとき、清掃後、等

⑥ 換気の励行

- ・1時間に1回、休み時間に5～10分程度の換気を行う。
- ・気候により授業中も窓開放とする。
- ・エアコン使用時も同様に行う。

⑦ 共有部分の消毒

- ・教室（電気スイッチ、ドア取手、教卓等）、校舎内（階段手すり、自販機スイッチ部分等）不特定多数の生徒が触れるものは、定期的に消毒を行う。
- ・特別教室は、使用ごとに換気、消毒を行う。
- ・トイレは学年の使用場所を限定し、使用時には各自で便座や洗浄レバー等の消毒を行う。
- ・上履きを忘れた場合のスリッパ貸出は保健室で行い、返却時に各自消毒を行う。
- ・清掃用具、また教科活動等で使用した共有物は、使用後に消毒を行う。

⑧ 休み時間の廊下では、対面通行にならないよう指導する。

⑨ 昼食について

- ・きれいなビニール袋を各自持参し、外したマスクを清潔に保持できるようにする。
- ・班にせず、同一方向を向き、距離を保って食べる。
- ・昼食前には机上のアルコール消毒を行い、必ずナプキンを敷く。
- ・おしゃべりは、食後にマスクを着用してから。

⑩ 清掃活動について

- ・教室等は、通常通りに行う。
  - ・生徒への感染予防のため、生徒はトイレ清掃を行わず、手洗い場のみ清掃を行う。
- ※トイレ清掃、およびすべての使用教室の消毒作業については、最終下校後に教員が行う。

⑪ ゴミ捨てについて

- ・鼻をかんだ、口を拭いた等のティッシュは、教室のごみ箱には捨てず、蓋つきのトイレのごみ箱へ捨てる。特別教室においても同様。
- ・小さなビニール袋を持参し、そこに入れてから捨てるとうまい。

⑫ 様々な活動について

⇒ 委員会、部活動等の学年を超えた活動については、段階を追って進めていく。

⑬ 目に見えないウイルスに対して、それぞれが想像力を働かせて感染経路を絶つことができるように指導する。

(3) 抵抗力を高める

- ① 生活リズムを整え、十分な睡眠をとる。
- ② 栄養バランスの良い食事を心がける。
- ③ 適度な運動を行う。
- ④ 心のケアについて
  - ・学校生活（授業や友人との時間）での様子をきめ細かく観る。
  - ・健康チェック票でのストレス症状の確認。
  - ・必要時、面談等を行い問題があれば一緒に解決していく。
  - ・スクールカウンセラーからの発信（ストレス発散法等）

2. 保健室について

(1) 環境整備

- ① ソーシャルディスタンスを保てるよう保健室への入室制限を行う。… **E**
- ② 保健室内で、外科的対応・内科的対応の対応場所を分ける。（検温スペースの設置）… **F**
- ③ 定期的に換気を行う。
- ④ 使用物品は使用ごとに消毒を行う。
- ⑤ ソファ等も定期的に消毒を行う。
- ⑥ 検温スペース、使用した別室の換気・消毒を行う。
- ⑦ 必要に応じ、防護具を使用し対応する。

**E** 保健室前



**F** 検温スペース



(2) 対応について

① 外科的なもの：通常通り対応

②内科的なもの

- ・保健室内の検温スペース（ビニールシールド内）で対応。
- ・検温結果と症状により、必要時、別室で対応。
- ・発熱やその他の症状がある場合はもちろん、体調不良の場合も休養は行わずに早退とする。
- ・早退の場合、家庭連絡をして公共交通機関を使用しない帰宅方法を相談。

**3. ご家庭へのお願い**

(1) 毎朝の検温および健康観察を行うようお願いいたします。

健康チェック票についてはご家庭でも内容をご覧いただき、登校時忘れないよう声掛けをお願いいたします。

(2) 検温結果が平熱よりも高い場合、風邪症状などがある場合など、体調に心配のあるときは無理せずに登校を控え、休養するようにしてください。

(3) 感染予防対策のため、毎日持参するもの

- ① 健康チェック票
- ② マスク（着用している物とは別に、予備を持参）
- ③ きれいなビニール袋（昼食時など、一時的に外したマスクを保管するもの）
- ④ ハンカチまたはタオル（必ず、毎日交換したもの）

(4) 本人・同居ご家族が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、また本人・同居ご家族が濃厚接触者となった場合は、学校までご連絡くださるようお願いいたします。

**※ 欠席の扱いについては、後日「エルピス」にてご連絡いたします。**